

「JA兵庫南自己改革」通信

JA兵庫南の自己改革への取り組み、進捗状況を報告します。



〈1〉職員向け研修会の実施 〈2〉自己改革プログラム進捗状況(6月末)の報告

JA兵庫南は平成30年度も「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とし、自己改革を進めていきます。

〈1〉職員向け研修会の実施

平成30年4月21日、いなみ文化の森コスモホール(稲美町)で、有限責任監査法人トーマツJA支援室シニアマネージャーの水谷成吾氏を招き、「農協を取り巻く環境と農協の目指すべき姿」と題した職員向け研修会を実施しました。

「JAは多数の小規模農家がやりがいを持って営農を継続できる環境を整備し地域農業を支えるのが農業協同組合の原点である」と水谷氏は力強く述べられました。

役職員一同、今まで以上に努力を重ね自己改革に取り組む決意をさらに強めました。



政府の農協改革とJAの自己改革との違いとは?

- ・政府が進める農協改革は「1人×100歩=100歩の前進」
- ・JAが進める自己改革は「100人×1歩=100歩の前進」

〈2〉自己改革プログラム進捗状況(6月末)の報告

JA兵庫南自己改革の3つの基本目標の一つ「地域の活性化」について、抜粋ですが進捗状況を報告します。

Ⅲ. 地域の活性化(中期経営計画重点項目)

評価欄:○計画どおり進捗 △取組みに若干遅れがある ×大幅に遅れている ー今後取り組む予定

項目 具体的行動計画	平成30年度末 目標値	6月末 評価	差異の要因分析	目標達成に必要な対応策
1. 組合員組織の活性化と強化				
① JA女性会活動の充実	1,460名	△	6月末現在、会員数1,445名	女性会活動のPR、新規グループの立ち上げ支援等、会員増加に向け努力します。
② 次世代につなぐ組合員組織づくり(子育て応援プラザ)	開設方法の検討	△	こども食堂への食材提供を実施	常設された施設の開設ではなく、乳児食教室等を実施することで、子育て応援に対応します。
③ 高齢者・こども見守り活動	年12回 (組合員訪問)	○	毎月1回実施済み	引き続き、毎月1回実施します。
④ 支店事業所ふれあい活動の展開	年3回	○	各支店・事業所でふれあい活動を実施	支店・事業所で活動を促進するとともに、その進捗状況を把握しサポートします。
⑤ JA利用者懇談会の充実	年6回開催	ー	初回懇談会は7月18日開催予定	8月、10月、12月、2月に事業毎に開催し、3月に提案書を提出いただく予定です。
2. 食農教育活動の充実				
① ふあ〜みんな食農支援金の拡充	70団体参画	△	6月末現在、44団体が申請	申請締切、7月末。引き続きPRを行い、申請団体数の増加を目指します。
② ちゃぐりんスクールの充実	30名	△	25名参加。年間6回開催予定中、6月末現在で2回開催済み。	活動をPRすることで次年度に向け、参加者獲得を目指します。本年度の活動を充実させることで次年度のリーダー参加者の獲得を目指します。
③ 地元野菜を使用した料理教室	年間70回開催	○	6月末までに21回開催、参加のべ人数226人	引き続き、月に5〜6回の開催を予定しています。
④ 農業体験イベントの開催(支店事業所ふれあい活動)	年1回	○	各支店・事業所で開催済みまたは開催予定	支店・事業所で活動を促進するとともに、その進捗状況を把握しサポートします。

～農業の活性化と豊かな地域社会をめざし、創造的自己改革への挑戦!～

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げ、取り組みます。